

# 第 105 期 株主通信



TOAGOSEI

2017年1月1日から2017年12月31日まで

東亜合成株式会社

01 株主の皆様へ

05 特集：東亜合成グループ  
成長ストーリー

07 トピックス

09 セグメント別概況





代表取締役社長  
高村 美己志

### ポイント

- 全セグメントで増収達成 基幹化学品事業と高機能無機材料事業が営業利益を牽引
- 設備投資を積極的に行い、投資額は前期比ほぼ倍増
- 当期の年間配当金は1株当たり26円を実施

### Q 当期(2017年12月期)の概況について、お聞かせください。

**A** 当連結会計年度(2017年1月1日から2017年12月31日まで)におけるわが国経済は、好調な企業収益や雇用・所得環境の改善などから、景気は緩やかに回復いたしました。世界経済は、米国、欧州など先進国経済が堅調に推移したほか、中国における構造改革が進展するなど新興国経済にも持ち直しの動きが見られました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、原油をはじめとした資源価格は年中盤から上昇しましたが、回復基調が続く日本経済や中国における環境規制の影響などにより化学製品

全般の需要が好調に推移いたしました。さらに、エレクトロニクスや自動車関連製品の需要も増加しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は1,447億8百万円(前期比6.9%増収)、営業利益は174億5千3百万円(前期比8.1%増益)、経常利益は184億9千2百万円(前期比9.2%増益)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、遊休不動産の売却益が減少したことなどから129億1千1百万円(前期比6.4%減益)となりました。

### Q 次期の見通しについてお聞かせください。

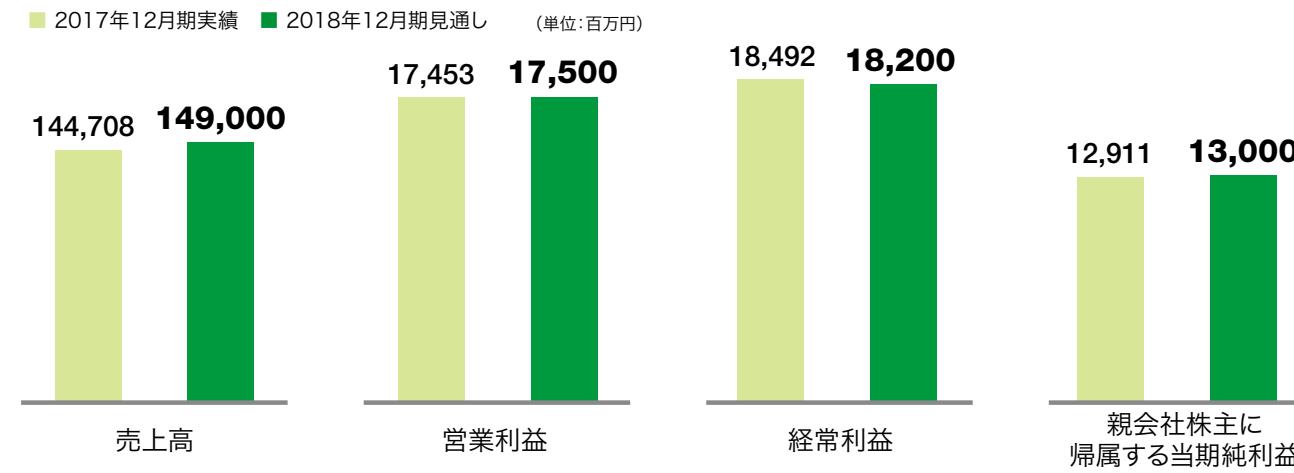
**A** 今後の見通しにつきましては、日本経済は、好調な雇用・所得環境を背景に個人消費が持ち直すなど緩やかな回復が続くと見込まれます。また、世界経済は、金融資本市場の変動や米国における保護主義の高まりなどが懸念されますものの、各国経済の堅調な伸びに支えられ、景気は回復基調を維持するものと期待されます。化学業界におきましては、原油をはじめとした資源価格の上昇は利益圧迫要因となりますが、世界的に底堅い景気に支えられた好調な需要は当面続くと思われま

す。このような中、当社グループは2017年から2019年を実行

期間とする中期経営計画「成長への軌道2019」で設定したアクションプランを着実に実行することで、基幹事業のコスト競争力を強化するとともに、新製品・新事業の創出と海外事業展開をより一層推進してまいります。

2018年12月期通期の業績につきましては、売上高は1,490億円(前期比3.0%増収)、営業利益は175億円(前期比0.3%増益)、経常利益は182億円(前期比1.6%減益)、親会社株主に帰属する当期純利益は130億円(前期比0.7%増益)を予想しております。

### 2018年12月期連結業績予想



予想数値には、本決算発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、本誌数値と異なる可能性があります。

### Q 対処すべき課題をお聞かせください。

**A** 当社グループは、「化学事業を通じてより多くの人々とより多くの幸福を分かち合う」との企業理念のもと、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を基本方針としております。

中期経営計画「成長への軌道2019」では、当社グループの事業を、高付加価値製品からなる「成長戦略の中核を担う事業」と汎用製品からなる「経営基盤を支える事業」に分類し、優先すべき戦略を明確に設定し、事業運営にあたっております。

中期経営計画初年度の2017年は、設備投資を積極的に行い、設備投資額は前期比ほぼ倍増の約100億円となりました。海外展開においては、トウアゴウセイ・タイランドの第1期プロジェクトであるアクリルポリマー工場は、本年6月の操業開始に向けて建設工事が進行しています。また第2期プロジェクトとして、アロン化成の製品であるエラストマーを現地生産することを決定

いたしました。これらの施策により基盤事業の強化と高付加価値製品の拡大が着実に進展するとともに、成長著しいアジア地域への展開に向けた布石を打つことができました。

中期経営計画の2年目となる2018年は、①新製品・新事業の創出 ②海外事業展開の加速 ③経営基盤の強化 を重点課題とし、成長に向けた歩みをより確かなものとするを目標としております。昨年に続き、本年も高水準の設備投資を予定しております。これらの新・増設設備の安全・安定稼働を確実に成し遂げ、収益への寄与を早期に実現いたします。また全方位での業務効率化・合理化を推進するなど、2019年の創立75周年からさらにその先を見据えた経営基盤の質的転換を進めてまいります。



トウアゴウセイ・タイランド建設工事(2018年3月時点)

### Q 利益配分についてお聞かせください。

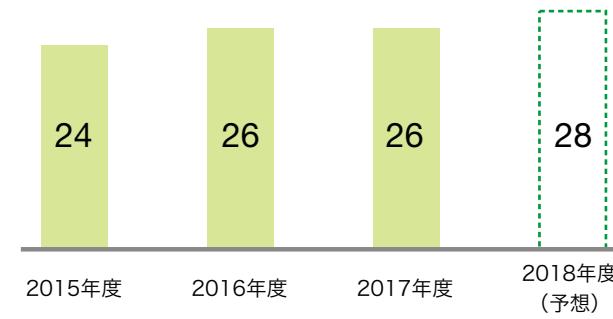
**A** 利益配分につきましては、当期の業績、今後の事業展開、業績の進展等を総合的に勘案して、株主の皆様への安定的な利益還元に努めることを基本方針としております。

当期の1株当たり年間配当金は、前期と同額の26円(期末配当金は13円)とさせていただきます。また2018年12月期の年間配当金は、1株当たり2円増配の28円(中間配当金は14円)とさせていただきます予定です。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

### 1株当たり年間配当金の推移

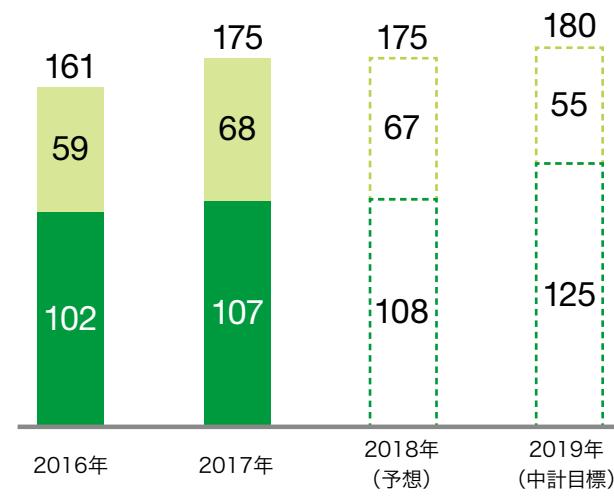
(単位:円)



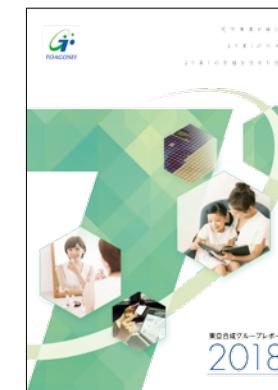
※当社は2015年7月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合とする株式併合を実施しています。これに伴い、1株当たり年間配当金は、2015年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しています。

### 高付加価値製品、汎用製品の営業利益の推移

■ 高付加価値製品 ■ 汎用製品 (単位:億円)



### 「東亜合成グループレポート2018」を発行しました。



東亜合成グループの経営戦略やCSR活動を分かりやすく紹介する「東亜合成グループレポート2018」を発行し、当社ホームページに掲載いたしましたので、ご覧ください。

冊子をご希望の方は、当社IR広報部までご請求ください。

東亜合成グループは、社会が目まぐるしく変化する中、化学の力によって新たな価値を創造してまいりました。たとえば、1963年に生産を開始した「アロンアルファ®」は、1971年に一般家庭用にも発売を始め、接着剤に対する世間の常識を変えました。これからも社会の期待に応える新製品・新技術を開発し、2019年に迎える創立75周年からさらにその先を見据え、中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

### 第1期 基礎化学製品発展期 (1910年代～1960年代)

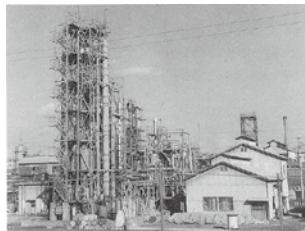
産業の基礎素材となる電解製品や食糧増産のための肥料がわが国化学工業の主流を占める時代において、ソーダ、アンモニア、硫酸アンモニウム、硫酸等を主力に事業を展開。



矢作工業全景

### 第2期 石油化学製品発展期 (1960年代～1990年代)

電解製品に加え、アクリル酸エステル、塩化ビニル樹脂、塩素系有機溶剤など、石油化学製品の事業展開が進んだ時期。



名古屋工場  
アクリル酸エステル工場

### 第3期 機能製品発展期 (1970年～)

石油危機による大量生産品の不振などの難局を乗り越え、景気変動に左右されない企業体質を創り出すべく、独自の技術を生かし、「アロンアルファ®」、「アロニックス®」といった機能製品を主力製品として育成。



発売当初の  
アロンアルファ

2019年  
東亜合成株式会社  
創立75周年

### 第4期

## 技術と高付加価値製品で 存在感のある企業グループへ

成長戦略を加速し、高機能・高付加価値製品の拡大と海外事業展開の強化による経営基盤の質的転換を推進。

#### 第3期中核をなす高付加価値製品

#### ポリマー・オリゴマー

アクリルポリマー  
オリゴマー(光硬化型樹脂)  
高分子凝集剤

#### 接着材料

瞬間接着剤  
機能性接着剤

#### 高機能無機材料

高純度無機化学品  
無機機能材料

#### 樹脂加工製品 (アロン化成)

建材・土木  
ライフサポート  
エラストマー

#### 東亜合成グループの 主な歩み

- 1933 当社の母体となる矢作工業設立
- 1942 (第2次)矢作工業設立(当社の設立)
- 1944 (第2次)矢作工業が、昭和曹達、北海曹達およびレーヨン曹達を吸収合併し東亜合成化学工業に社名変更(当社の創立)
- 1950 オークライト工業(現アロン化成)発足
- 1951 オークライト工業が国内初の硬質塩ビ管製造に成功

- 1960 わが国最初のアクリル酸エステルの企業化
- 1963 瞬間接着剤「アロンアルファ®」生産開始
- 1972 光硬化型樹脂「アロニックス®」生産開始
- 1983 アクリル酸製造会社大分ケミカル設立
- 1989 米国に当社初の海外現地法人設立
- 1993 香港にアジア初の海外現地法人設立
- 1994 米国で瞬間接着剤の充填包装工場完成

- 1995 中国(珠海)に瞬間接着剤の製造・販売会社設立
- 1996 シンガポールにアクリルモノマーの製造・販売会社設立
- 2000 台湾に光硬化型樹脂の製造・販売会社設立
- 2004 中国(張家港)に光硬化型樹脂の製造・販売会社設立
- 2006 水処理薬品の製造・販売合併会社を設立
- 2011 アロン化成を完全子会社化
- 2016 トウアゴウセイ・タイランド設立

## ◆ アジアにおける高付加価値製品の事業展開加速

トウアゴウセイ・タイランドの第1期プロジェクトであるアクリルポリマー工場の建設工事は、2018年6月の操業開始を目指し、最終段階を迎えています。さらに、同社の第2期プロジェクトとして、アロン化成が手掛けるエラストマーを生産することが決定しました。エラストマーは、ゴムに近い弾性を持ちながら汎用プラスチック並みの容易さで成型できる素材で、食品、医療、家電などさまざまな分野での使用が広がっています。

当社グループは、成長著しいアジア市場において、トウアゴウセイ・タイランドを中核拠点として育成し、同地域における高付加価値製品の事業拡大を加速してまいります。



家電部材などさまざまな用途に使用されるエラストマー

## ◆ 高付加価値製品を大規模展示会に出展

当社は、2017年に東京と大阪で開催された展示会「接着・接合EXPO」に出展し、接着材料、ポリマー・オリゴマー、高機能無機材料の新製品・新技術を紹介しました。また、アロン化成は「国際福祉機器展」において介護用品の新製品「家具調トイレセレクトR自動ラップ」を発表しました。海外では、中国の張家港東亞迪愛生化学が「中国国際塗料展」に光硬化型樹脂「アロニックス®」を出展しました。

当社グループは、これからも国内外の展示会への出展を行い、高付加価値製品を積極的に紹介してまいります。



## アロンアルファ®

### ◆ 進化し続ける「アロンアルファ®」

ご家庭用の瞬間接着剤「アロンアルファ®」は、これまでの針で開封する容器を廃止し、針を使用しない容器に統一しました※。より安全で、プッシュ部分も大きくし使いやすい容器に改良したことで、お客様の使い勝手がより向上しました。また、台紙デザインも黄色と黒色を基調としつつ、用途や商品の特長を見やすくしました。

多くの方々にご愛顧いただいているロングセラーブランド「アロンアルファ®」は、今後ともユーザーフレンドリーな商品を開発し、進化し続けてまいります。

※アロンアルファ®釣名人®シリーズは除く。



アロンアルファ®EXTRA®速効多用途

## アロン化成の介護用品

### ◆ 新製品「家具調トイレセレクトR自動ラップ」

アロン化成のポータブルトイレは、自宅トイレでの排泄が困難になった方が自立した排泄を行うことをサポートする福祉用具です。1972年のポータブルトイレの発売以来、排泄物を溜めたバケツを洗うことが悩みのひとつでした。「家具調トイレセレクトR自動ラップ」は、「バケツ」の代わりに、スイッチひとつで排泄物をフィルムでラップできる自動ラップ排泄処理ユニットを搭載し、バケツを洗うことなく排泄物の処理ができます。

アロン化成は、これからも介護に関わる悩みを解決し、使用される方、介助をされる方双方の安全で快適な生活をサポートしてまいります。



家具調トイレセレクトR自動ラップ

アロン化成の介護用品は介護ショップ等でお買い求めいただけます。

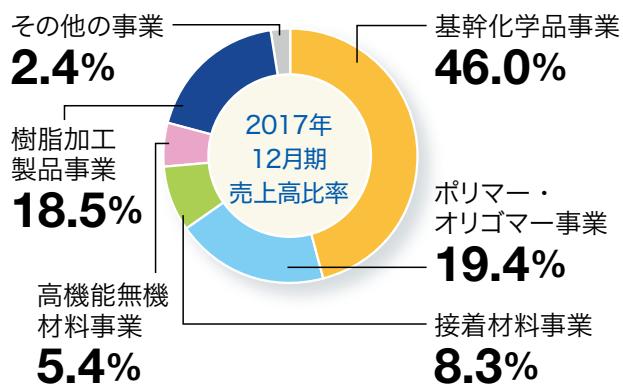
## セグメント別売上高・営業利益

(2017年12月期)

(百万円)

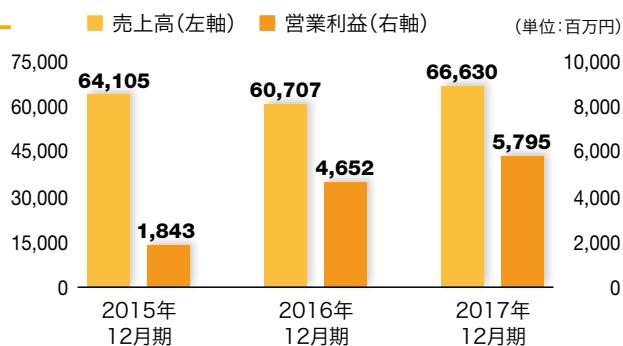
	売上高	営業利益
基幹化学品事業	66,630	5,795
ポリマー・オリゴマー事業	28,096	4,429
接着材料事業	12,010	2,659
高機能無機材料事業	7,791	2,397
樹脂加工製品事業	26,828	1,946
その他の事業	3,350	218

## セグメント別売上高比率



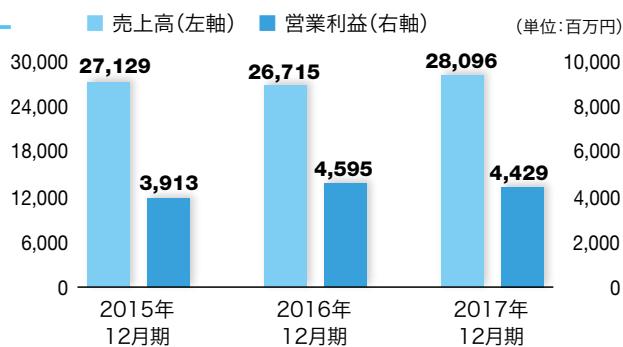
## 基幹化学品事業

電解製品は、カセイソーダや無機塩化物の販売数量が好調に推移し、一部製品では販売価格の是正が進んだことなどから増収となりました。アクリルモノマー製品は、販売数量の増加に加え販売価格の是正を進めたことなどから増収となりました。工業用ガスは、底堅い需要に支えられ販売数量が増加したことなどから増収となりました。



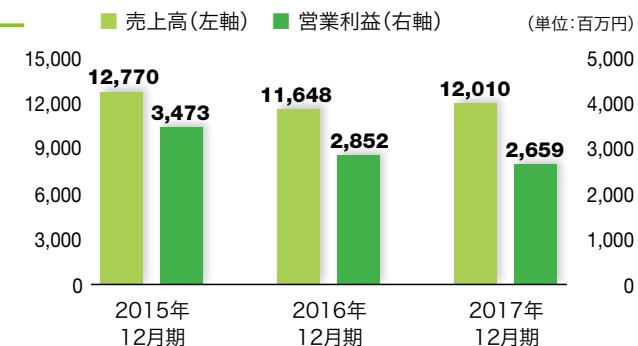
## ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、車載用材料や化粧品原料などに使用される高付加価値製品の販売好調により増収となりました。アクリルオリゴマーは、フィルムコーティングや電子材料などに使用される光硬化型製品の販売が好調に推移し増収となりました。高分子凝集剤は、販売価格は低下しましたが販売数量の増加により増収となりました。



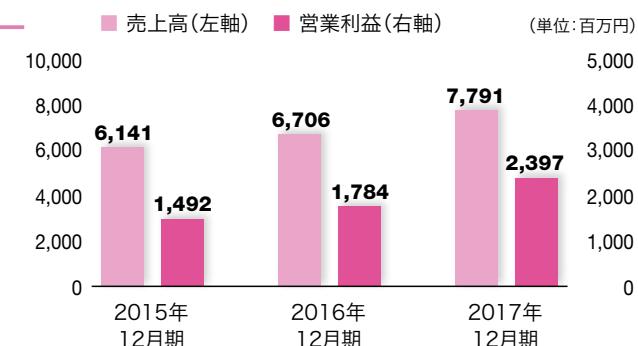
## 接着材料事業

瞬間接着剤は、コンビニエンスストア向けや工業用途向けの販売が好調に推移し増収となりました。機能性接着剤は、高機能情報端末などに使用される反応型接着剤の販売が伸長したことなどから増収となりました。



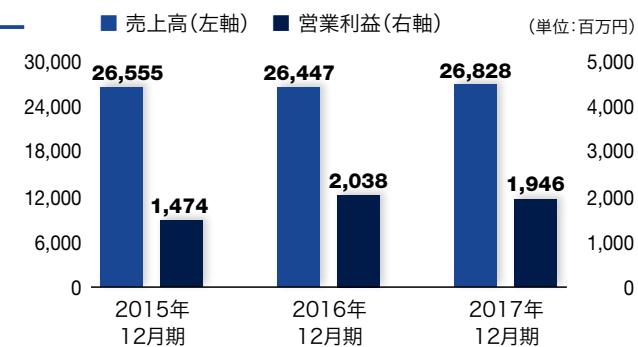
## 高機能無機材料事業

高純度無機化学品は、旺盛な半導体需要により液化塩化水素など高純度製品の販売が拡大したことなどから増収となりました。無機機能材料は、快適で衛生的な生活に対する関心の高まりに伴い、無機抗菌剤、消臭剤、防カビ剤などアメニティ製品の販売が順調に伸長し増収となりました。



## 樹脂加工製品事業

管工機材製品は、販売価格は弱含みで推移しましたが販売数量の増加により増収となりました。建材・土木製品は、ほぼ前年並みの販売となりました。ライフサポート製品は、新製品投入などが寄与し増収となりました。エラストマーは、医療や飲料分野向けの販売が好調に推移し増収となりました。



## 貸借対照表

(単位:百万円)

	前期末 (2016年12月31日)	当期末 (2017年12月31日)	増減額
流動資産	129,110	137,273	8,162
固定資産	90,409	102,064	11,655
① 資産合計	219,520	239,338	19,817
流動負債	29,519	37,032	7,512
固定負債	16,997	14,818	△ 2,179
負債合計	46,517	51,850	5,333
純資産	173,003	187,487	14,484
負債純資産合計	219,520	239,338	19,817

## 損益計算書

(単位:百万円)

	前期 (自2016年1月1日 至2016年12月31日)	当期 (自2017年1月1日 至2017年12月31日)	増減額
売上高	135,382	144,708	9,325
売上総利益	39,665	42,601	2,936
販売費及び一般管理費	23,517	25,148	1,630
② 営業利益	16,147	17,453	1,306
経常利益	16,935	18,492	1,557
特別損益	3,761	203	△ 3,558
③ 親会社株主に 帰属する当期純利益	13,801	12,911	△ 890

## キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前期 (自2016年1月1日 至2016年12月31日)	当期 (自2017年1月1日 至2017年12月31日)
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	21,989	15,166
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,673	△ 23,186
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,939	△ 4,047
現金及び現金同等物の期末残高	54,231	42,136

## POINT ①

資産合計は、「有価証券」および「投資有価証券」が増加したため、前期末に比べ198億1千7百万円増加し、2,393億3千8百万円となりました。

## POINT ②

営業利益は、汎用製品の堅調な出荷や半導体需要の高まりによる高純度無機製品の販売増加等により、前期に比べ13億6百万円増加し、174億5千3百万円となりました。

## POINT ③

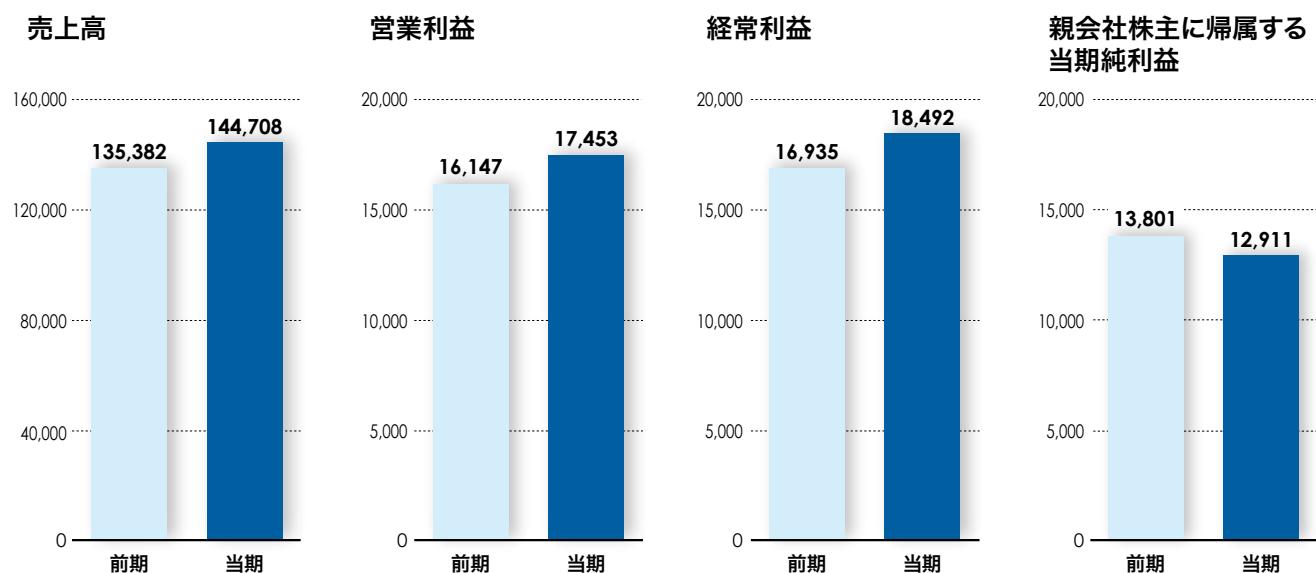
親会社株主に帰属する当期純利益は、遊休不動産の売却益が減少したことなどから前期に比べ8億9千万円減少し、129億1千1百万円となりました。

## POINT ④

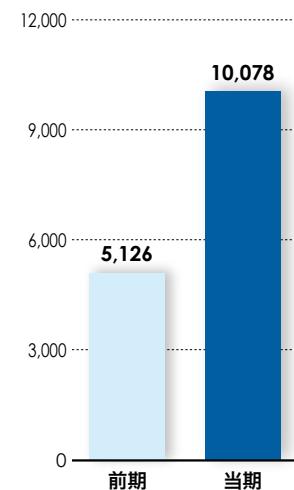
営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産および法人税等の支払額が増加したため、前期に比べ収入が68億2千3百万円減少し、151億6千6百万円の収入となりました。

## 2017年12月期(当期)

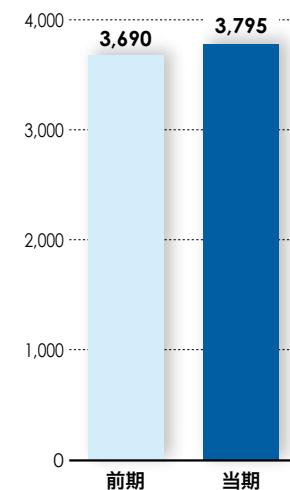
(単位:百万円)



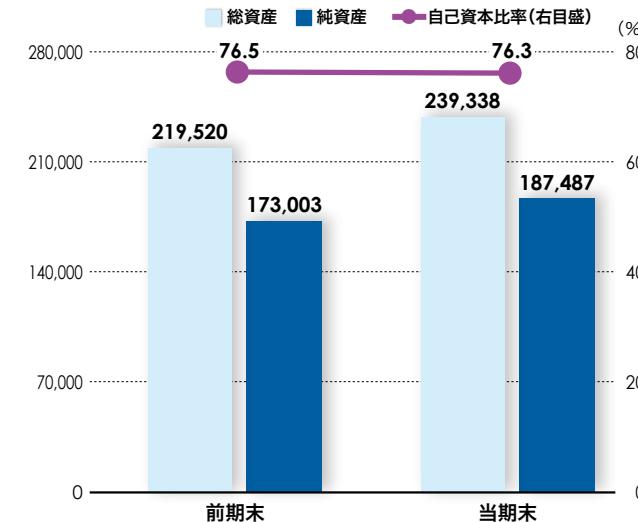
## 設備投資額



## 研究開発費



## 総資産・純資産・自己資本比率

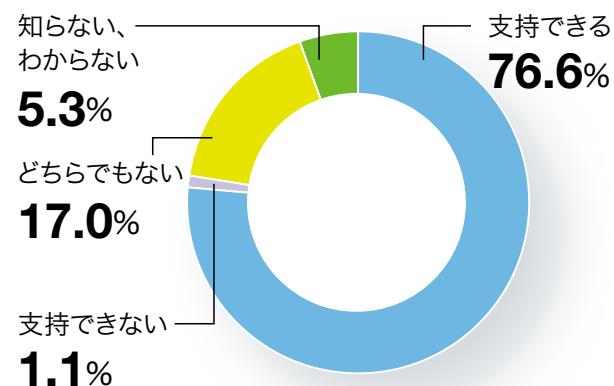


「第105期中間株主通信」でお願いしましたアンケートの結果を下記のとおりご報告いたします。

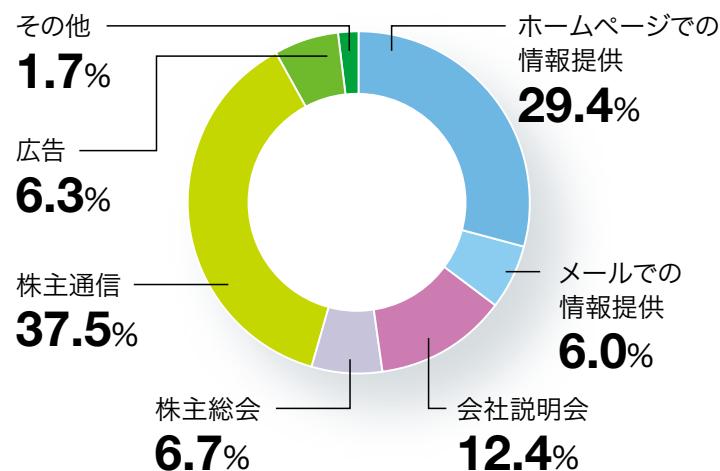
ご協力いただきました皆様に御礼申し上げますとともに、皆様からいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の経営に反映させてまいります。

## ■ アンケート結果

当社経営方針への支持度をお聞かせください。



当社のIR活動について、特に充実を希望されることは何ですか。



## ■ 株主の皆様からのご意見・ご要望Q&A



Q

研究開発拠点について教えてください。

A.

「R&D総合センター」(愛知県名古屋市)がポリマー・オリゴマーや接着材料、高機能無機材料などの高付加価値製品の研究開発を主体となって行っています。また、「先端科学研究所」(茨城県つくば市)が生命情報科学、アロン化成の「ものづくりセンター」(愛知県東海市)が樹脂加工製品の研究開発を担っています。



Q

設備投資の状況を教えてください。

A.

2017年の設備投資額は、タイ工場建設、カセイカリ設備更新、アロン化成管材生産体制再構築等により、前期比ほぼ倍増の約100億円となりました。2018年も引き続き設備投資を積極的に推進することにより、基盤事業強化、高付加価値製品の拡大に努めてまいります。

## 会社概要

本店所在地/〒105-8419 東京都港区西新橋一丁目14番1号  
電話 (03)3597-7215(代表)

創立/1944年7月17日

資本金/20,886百万円

従業員/連結2,393名  
単独1,197名

## 取締役 (2018年3月29日現在)

代表取締役社長	高村 美己志
代表取締役副社長	石川 延宏
取締役	伊藤 克幸
取締役	鈴木 義隆
取締役	兼定 盛幸
取締役	美保 享
取締役	杉浦 伸一
社外取締役	中西 智博
社外取締役	小池 康博
取締役(監査等委員)	小峰 朗
社外取締役(監査等委員)	原田 力
社外取締役(監査等委員)	北村 康央
社外取締役(監査等委員)	高野 信彦

## 株主メモ

- 事業年度…… 毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会… 毎年3月に開催
- 基準日 …… 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日  
中間配当 毎年 6月30日
- 公告の方法 …… 電子公告の方法により行います。  
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞(東京)に掲載します。  
公告掲載URL(<http://www.toagosei.co.jp/>)

## 株式の状況

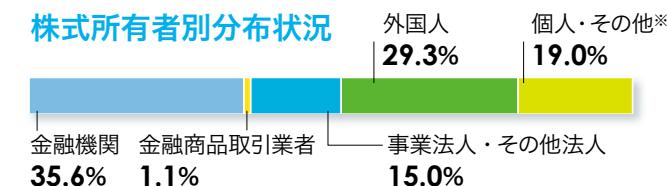
発行可能株式総数	275,000,000株
発行済株式総数	131,996,299株
株主数	16,877名

## 大株主の状況

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,937	4.51
株式会社三井住友銀行	5,818	4.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,646	4.29
東亜合成取引先持株会	4,243	3.22
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE THE KILTEARN GLOBAL EQUITY FUND	3,562	2.71
東亜合成グループ社員持株会	2,871	2.18
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,824	2.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,344	1.78
農林中央金庫	1,972	1.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,968	1.50

出資比率は、自己株式(361,663株)を控除して計算しております。

## 株式所有者別分布状況



※「個人・その他」には自己株式が含まれております。

- 株主名簿管理人…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先…………… 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店  
および全国各支店で行っております。  
(電話照会先)

## ご案内

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 各種手続用紙のご請求について(特別口座の株主様)

以下の手続用紙のご請求については、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社のインターネットで24時間お受けしております。

#### ■ホームページアドレス

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

- ・ 口座振替申請書
- ・ 単元未満株式買取請求書
- ・ 配当金振込指定書(特別口座用)
- ・ 変更届(住所・氏名・届出印等)

### 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 「配当金計算書」について

配当金のお支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねており、確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告を行われる株主様は、大切に保管してください。

## 当社Webサイトをぜひご覧ください



## 個人投資家の皆さまへ



## 当社グループの強み、今後の成長戦略を紹介

<http://www.toagosei.co.jp/ir/individual/>

### 東亞合成Webサイトトップページ

<http://www.toagosei.co.jp/>

東亞合成

検索